

自ら学ぶ家庭学習の習慣を身に付けさせましょう



今回の全国学力・学習状況調査結果（質問紙）から、家庭学習の課題の与え方等について教職員で共通理解を図っている割合が低いことが分かりました。また、与えられた課題には積極的に取り組むが、自分で計画を立てて勉強に取り組むことは苦手であるという傾向も明らかになりました。

校内研修等で、以下のポイントや取組例を参考にして全教職員で家庭学習について見直し、子どもが自ら学ぶ家庭学習の習慣を身に付けられるようにしましょう。

ポイント① 学校としての家庭学習の方針を明確にする

家庭学習に対する**学校としての方針**を明確にするとともに、職員間で**共通理解**を図り、家庭学習が習慣化されるように指導しましょう。



家庭学習について教職員が共通理解を図るポイント

- 家庭学習を習慣化する意義
- 教科・学年等に応じた内容や量
- 習慣化を図るための指導の進め方
- 評価・点検の方法
- 保護者のかかわり方

<指導例>

○二者面談で、家庭学習の様子を聞き、励ましやアドバイスを行う。

○学級活動で、各自の家庭学習の内容等について、情報交換する。

○帰りの会で、家庭学習のスケジュールを立てて実践させる。

■ 発達段階に応じた家庭学習のイメージ例

	小学校			中学校
	低学年	中学年	高学年	
意義	習慣化	自分なりの学び	計画的・主体的な学び	
評価・点検	励まして習慣化を	励まして自主性を	励まして夢や進路へのチャレンジを	
内容	与えられた課題の比率大	自主学習の比率 増	自主学習の比率大	自主学習中心
比率	全員に同一の課題 ・ 個人差に応じた課題			自分で選択した課題

ポイント② 保護者と連携して、子どものやる気を引き出す

学校全体で確認した家庭学習の方針を『家庭学習の手引き』としてまとめて保護者に伝え、理解と協力を得られるようにしましょう。

保護者には、「**生活のリズムを整える**」「**学習に取り組む雰囲気をつくる**」「**努力を認め励ます**」の3つについて協力を得られるように、PTA総会や保護者会など様々な機会を使って説明しましょう。

家庭学習の手引き

効果・意義
時間の目安
取り組む内容例
保護者の関わり方



保護者

ほめ言葉やノートへのコメントの方法を示してもらったので、早速やってみました。子どももほめられることが増えて、自分から家庭学習に取り組むようになってきました。

宿題は「遊ばせないために必要」としか思っていなかったのですが、自分で考えてやり遂げる力が育つように、親として励ましていきたいです。